

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成30年7月23日

三田市議会議長 今北義明 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者		印 [Redacted]
		議員名	北 本 節 代	
派遣者氏名				
視 察 先	山形県上山市・天童市			
調査事項 (調査目的)	・ 上山市 かみのやま健康マイレージ事業 ・ 天童市 駒やかカイゼン運動事業 結婚サポーター事業			
日 時	H30年 7月 4日(水) ~ H30年 7月 5日(木)			
視察先対応者	別 紙			
添付資料	・ ・ ・ ・			

# 【所見】

山形県上山市

☆ かみのやま健康マイレージ

～ポイントを貯めて楽しく健康づくりをしましょう～

上山市の健康推進計画である「湯ったり健康かみのやま21（第2次行動計画）」がH26年度から始まることに伴い、市民の健康意識の向上、行動変容を図ることを目的に、かつ楽しく健康づくりができる仕組みとして考えられた健康づくりを行って、ポイントを貯め、30ポイント貯まったら市から「やまがた健康づくりカード」が発行され掲示すると県内の健康マイレージ協力店で各種サービスが受けられる制度で、参加者は、健康グッズが当たる抽選会にも参加できる。平成26年6月に事業がスタート。

協力店依頼通知285通発送し、12店舗が協力店としているが、県の事業と市の事業とが一期別々であったが、平成28年度から統合され店舗数は増えたが一方で抜けていく店舗もある。入れ替わりある中で、12店舗は県の事業に協力しているということ。

また、SNS・アプリのアプローチはせず保健士さんの健康教室等でPRしてもらったり、口コミで65歳以上にアプローチをする。長期的にこれをやることによって、健康に無関心層を減らしていくことが大事であり楽しく何らかの形で健康に関しての知識を持ってその取り組みをしていくのがマイレージ事業である。

この事業で自分の健康管理をしている人もいる。

三田市に於いてもこのポイント制度の活用は可能だと思う。

こういう発想を職員が提案し、三田市独自の取り組みとして知恵を出してほしい。

# 【所見】

山形県天童市

## ☆ 駒やかカイゼン運動事業

天童市の職員自らがさまざまな業務改善を提案検討、実践して行政サービスの向上を目指す取り組み。

運動は市民目線の行政サービスを心掛け2013年からスタート。全部署の若手職員らが中心になって改善策を考案し実施している。

この名称は職員からの公募により決まったものであり「細やか」なサービスと将棋の「駒」をかけて天童らしさを出したものとなっています。

52件の案件で危機管理室内の本棚、保管棚の固定化による転倒防止対策が今一番身近に必要な案件だと思った。転倒防止対策として市販のL型金具と鉄板ビスで固定しており、安価な経費で効果的な室内の地震対策を行うことが出来たことは、三田市としても取り入れられるのではないかと、近年の地震のニュースを見ても揺れによって棚が倒れ書類等が散乱するのを目のあたりにすることが再々あることから、身近なところから見直すことも必要かと感じた。

## ☆ 結婚サポーター事業

晩婚化及び未婚化対策を図ることを目的として結婚を希望する独身男女の出会いの機会を拡大するための仲人活動を行うものです。

市報にて結婚サポーターを募集。9名の応募があり、情報交換会やサポーター会議を経て結婚相談会やお見合いを実施する手順となっているが1年経過時点では、成婚数はないということである。

出会いの機会をイベントする団体は、農協果樹青年部、商士会議所青年部、飲食店、旅館、観光業などで婚活能力向上セミナーやバスツアーお見合い等が実施されている。

サポーター登録要件に「市内に住所を有する20歳以上の者であること」と、また、市長は申込書の提出があった場合は、これを審査し適当と認める時は、登録認定証を交付するものがあるが、将来の伴侶を決める大きな責任がある、人選については慎重に信頼される方を選ぶべきだと思う。従ってこのサポーター募集方法には賛同できない部分あり。

結婚を希望する独身者の出会いの機会を提供するイベント等を開催する団体に事業費の一部を補助する制度もある。工夫いっぱいのプログラムが企画され多くの男女の出会いの場が提供されており、成婚数が期待されるようです。

三田市においてもいろいろなところでの企画はありますが、成婚数については、定かではない。テレビで大々的な婚活イベントが企画・放映されるのを見て、三田市のPRも兼ねた思い切った企画を職員提案としてプロデュースする方がいないのかと思う。